

Nxera Pharma

2026年12月期中間決算説明資料

2026年8月7日 | ネクセラファーマ株式会社(コード:4565)

免責事項

本資料は、ネクセラファーマ株式会社およびその子会社（以下、総称して「当社グループ」）に関する本資料作成時の一般的な情報を記載しています。本資料は、情報提供を目的としたものであり、有価証券の投資勧誘や投資アドバイスとして解されるべきものではありません。本資料は、受領者の具体的な投資目的、財務状況、または特定のニーズに合わせて作成されたものではありません。また、第三者による有価証券の評価またはその募集の根拠を提供することを意図しておらず、何らかの有価証券の申込または購入を推奨するための資料ではありません。

本資料の情報は、要約であり全情報ではありません。一部の情報は、公開情報源から入手されています。当社グループは、明示的あるいは黙示的に関わらず、本資料に含まれている情報の正確性、公平性、または完全性に関して一切表明または保証せず、当該情報の正確性、公平性、または完全性に頼るべきではありません。当社グループは、新しい情報および／または将来の出来事に照らし合わせて本資料を更新する責任または責務を負いません。また、当社グループは、改訂または変更を通知する義務を負うことなく、自己の裁量により本資料の内容を任意の方法で改訂、修正、または変更できます。

本資料には、1933年の米国証券法のセクション27A（改定を含む）および1934年の米国証券取引所法のセクション21E（改定を含む）で定義されている「将来予測に関する記述」が含まれています。「信じる」、「期待する」、「予測する」、「意図する」、「計画する」、「目指す」、「見積もる」、「予定である」、「可能性がある」、およびこれらと同様の表現は、将来予測に関する記述であることを示しています。本資料に含まれている過去の事実以外のすべての記述は、将来の経営に関する当社グループの財務状況、事業戦略、経営計画および目標（当社の製品に関わる開発計画および目標を含む）を含め（ただし、それだけに限定されない）、将来予測に関する記述です。当該将来予測に関する記述には、既知および未知のリスク、不確実性、その他の要因が含まれているため、当社グループの実際の結果、業績、または実績は、当該将来予測に関する記述に含まれたり示唆されたりしている将来の結果、業績、または実績と大きく異なる場合があります。当該将来予測に関する記述は、当社グループの現在と将来の事業戦略および将来の事業環境に関する数多くの想定に基づいています。当社グループの実際の結果、業績、または実績と将来予測に関する記述の内容とに大きな違いをもたらしうる重要な要因として、特に製品の創薬と開発に伴うリスク、臨床試験に関わる不確実性、期待よりも遅い被験者の募集、患者に対する当社グループの製品の投与に起因する予期しない安全性の課題、製品の製造に関わる不確実性、当社グループの製品の市場の受け入れ不足、成長を管理する当社グループの能力欠如、当社グループの事業分野および市場に関わる競争環境、適切な資格を有するスタッフを確保・維持する当社グループの能力欠如、当社グループの特許および所有権の法的強制力または保護の欠如、当社グループと関係会社の関係、当社グループの製品を陳腐化させうる技術の変化および発展、その他の要因が挙げられます。これら要因には、東京証券取引所および日本の金融庁へ提出された当社グループの開示済み報告書に記載された要因が含まれますが、それだけに限定されません。当社グループは、将来予測に関する記述に含まれている期待および想定は当社グループの経営陣が現在入手できる情報に適切に基づいていると考えていますが、一部の将来予測に関する記述は、結果として不正確となりうる将来の出来事に関する想定に基づいています。将来予測に関する記述は、本資料の日付の時点のものであり、当社グループは、新しい情報が将来入手できた場合でも、将来予測に関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

本資料は、何らかの有価証券の勧誘を構成するものではありません。本資料およびその内容は、いかなる契約または確約の根拠となりません。本資料の受領者は、本要約の内容を法律、税金、または投資のアドバイスと解釈してはならず、それに関しては自己のアドバイザーへ相談すべきです。

本資料およびその内容は、当社グループの書面による事前同意を得ることなく、全部または一部を複製、公開、その他の形で配布してはなりません。当該資料は、いずれかの司法管轄区または国の個人または組織に対して現地の法律または規制に違反して配布される、またはそれにより使用されることを意図していません。

本資料には、非GAAP財務データが含まれています。本資料に含まれている非GAAP財務データは、IFRSに従って計算された財務実績のデータではなく、IFRSに従って決定される利益または営業利益の差し替えまたは代用、業績の指標、または営業活動により生み出されるキャッシュフローの差し替えまたは代用、または流動性の基準として捉えるべきではありません。非GAAP財務データは、IFRSに従って報告された当企業の実績の分析の代用としてではなく、それに追加して扱うべきです。

「ネクセラ」および当社グループのロゴは、当社グループの商標もしくは登録商標です。

目次

- 01 ビジネスハイライト
- 02 連結業績
- 03 日本/APAC事業
- 04 研究開発の進捗
- 05 今後の展望
- 06 Q&A

ビジネスハイライト

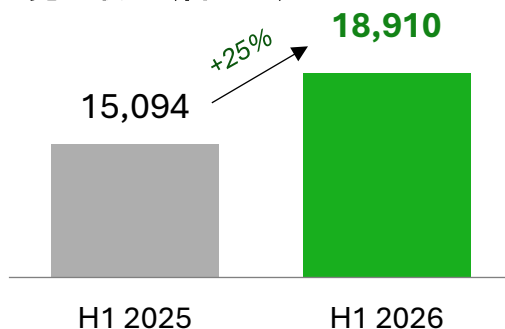
CEO クリストファー・カーギル

01

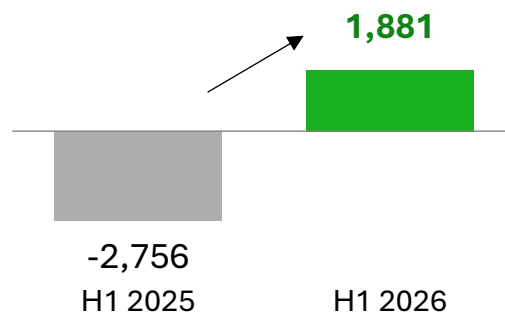
26/12期1H業績ハイライト 投資フェーズから成果創出フェーズへ加速

財務実績

売上収益 (百万円)



営業利益 (百万円)



コア営業利益は3.6億円から
64.9億円へ増加

コマーシャル事業

PIVLAZ® 売上収益

63億円
(前年同期比+9.1%)

QUVIVIQ®売上収益

36億円
(前年同期比+126.9%)

vamoroloneは韓国で希少疾患と
優先審査の指定を取得

プラットフォーム事業



複数のマイルストーンを達成



NEUROCRINE®
BIOSCIENCES

\$23M

abbvie

\$20M



CENTESSA
PHARMACEUTICALS

\$2M

\$3M

\$4M

Lilly

非開示



LillyがCentessaのオレキシン作動薬ポートフォリオを買収

Lilly

X



CENTESSA
PHARMACEUTICALS

Up to \$7.8B



GPCR標的プログラムのNewCo設立

\$275M

潜在的マイルストーン+ 段階的ロイヤルティ+ 株式持分

提携案件の進展とLillyによるCentessa買収は、
NxWave®を用いて創出したアセットの価値と可能性を示す



2026年の目標

01

製品関連の売上高195億円以上
(ピヴラッツ® + ケービビック®)

99億円
進捗率: 51%



02

日本とAPAC(中国を除く)市場向けに、
1品目以上の後期開発品を取得

複数の交渉が
進行中



03

1つ以上の価値の高い提携契約を締結

タームシートの
交渉が進行中



04

パートナー企業によるフェーズ2試験を
1つ以上開始

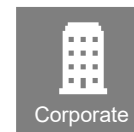
NBI-'570のP2試験
開始により達成



05

総コストを10%以上削減し、
IFRSベースでの通期黒字化を達成

1Qに続き、上期も黒
字化を達成



連結業績

CFO 野村 広之進

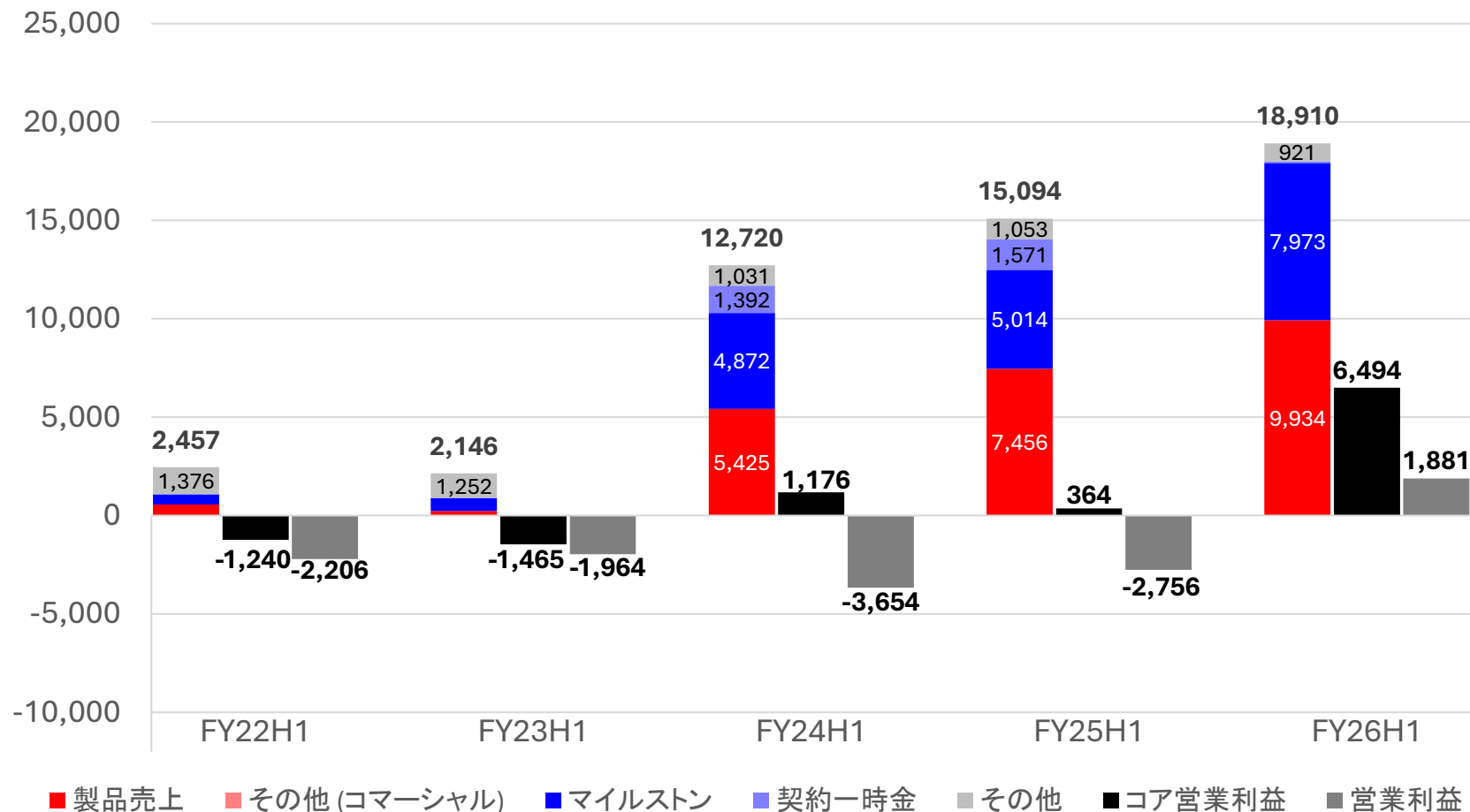
02



主要決算数値(2026年12月期1H)

コア営業利益、営業利益ともに黒字化達成

(百万円)



26年1Hの進捗



- ニューロクライン社、センテッサ社、リリー社、アッヴィ社などから複数のマイルストーン受領
- M1/M4作動薬NBI'570のP2試験開始(22.5百万米ドル受領)



- ピヴラツツ(前年比9%増)
- クービビック(前年比127%増)



- 肥満領域への投資は増加したものの、効率的な投資および資本配分により、研究開発費は減少(通期予想に対する進捗率: 50%)
- 販管費は期初予想に沿って進捗(同: 49%)



1H決算のブレークダウン(2026年12月期)

コマーシャル事業、プラットフォーム事業は共に黒字化

(百万円)	プラットフォーム*1		コマーシャル*2		連結損益(コア)		ノンコア費用		連結損益(IFRS)	
	(対前年同期比)		(対前年同期比)		(対前年同期比)		(対前年同期比)		(対前年同期比)	
売上収益	8,945	+46%	9,965	+11%	18,910	+25%	合計：4,613		18,910	+25%
売上原価	297	-72%	2,966	+25%	3,263	-5%	A 償却費(894)		3,281	-6%
販管費	2,902	+12%	1,831	-29%	4,733	-8%	B その他(1,344)		6,953	-8%
研究開発費	4,721	-22%	585	-15%	5,306	-22%	B その他(694)		6,000	-20%
その他収益	881	+213	5	+10	886	+223	(1,681)		(795)	-1,458
営業損益	1,906	+4,874	4,588	+1,256 (+38.4%)	コア営業利益 6,494	+6,130			営業利益 1,881	+4,636

A 主にピヴラッツとクービビックの無形資産の償却

B その他の無形資産(知財等)の償却、有形固定資産(実験設備等)の償却、株式報酬費用、及びその他事業再編費用

*1 = ネクセラファーマ株式会社(旧ソーセイグループ株式会社) + Nxera Pharma UK Ltd(旧Heptares Therapeutics Ltd.)、但し、ネクセラファーマ株式会社のスイス支社を除く

*2 = ネクセラファーマジャパン株式会社 + Nxera Pharma Korea + ネクセラファーマ株式会社のスイス支社

*3 = 25年11月より実施している事業再構築の効果は、26年後半により顕在化すると見込んでいます

An abstract background featuring a blurred blue globe in the center. In the top left corner, there is a glass of red wine. On the right side, a curved, metallic-looking object, possibly a wine glass rim, is visible. The overall color palette is dominated by blues and greens, with the red of the wine providing a contrast.

日本/APAC事業

COO 前田 敏宏

03

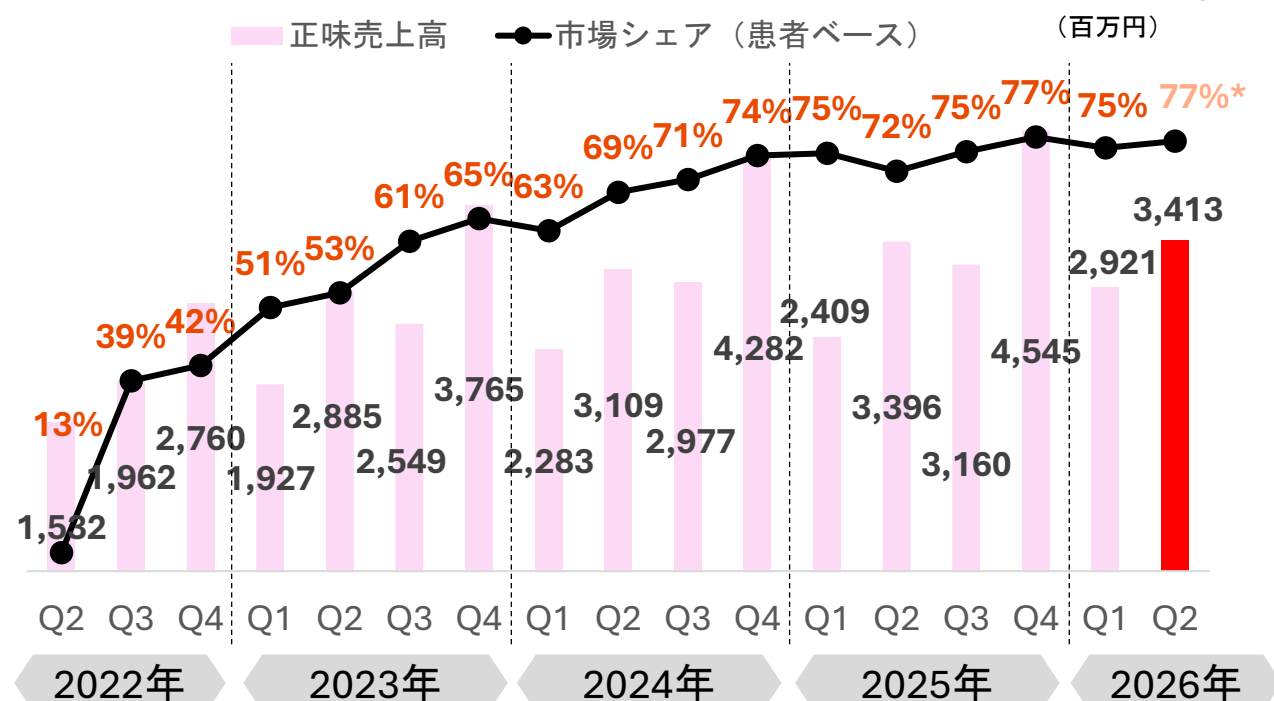


ピヴラッツ® (クラゾセンタン/エンドセリンA拮抗薬)

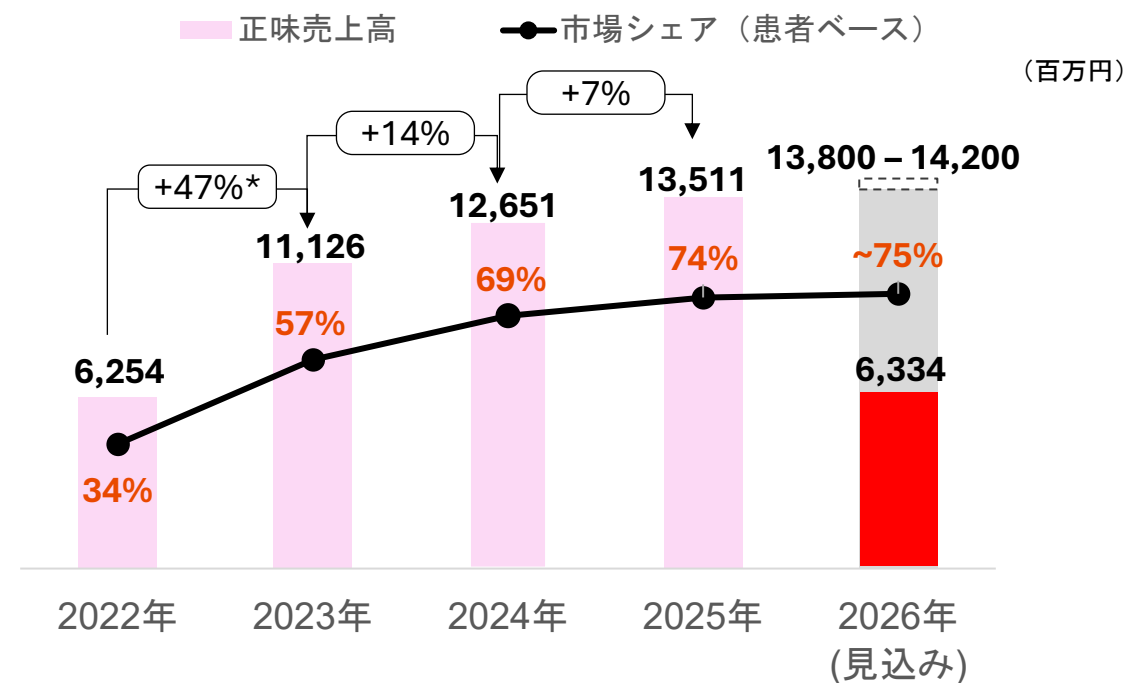
くも膜下出血 (aSAH) 術後の脳血管攣縮予防を目的とした当社初の上市製品



ピヴラッツ®の四半期売上



ピヴラッツ®の年間売上と成長率



ピヴラッツ®は急速に普及しており、脳血管攣縮の予防における標準治療薬となりつつある



クービビック®*: 新規のデュアルオレキシン受容体拮抗薬 (DORA)

DORAは不眠症治療薬において、急速に地位を確立している



不眠症治療薬 / オレキシン受容体拮抗薬

クービビック®錠 25mg 50mg

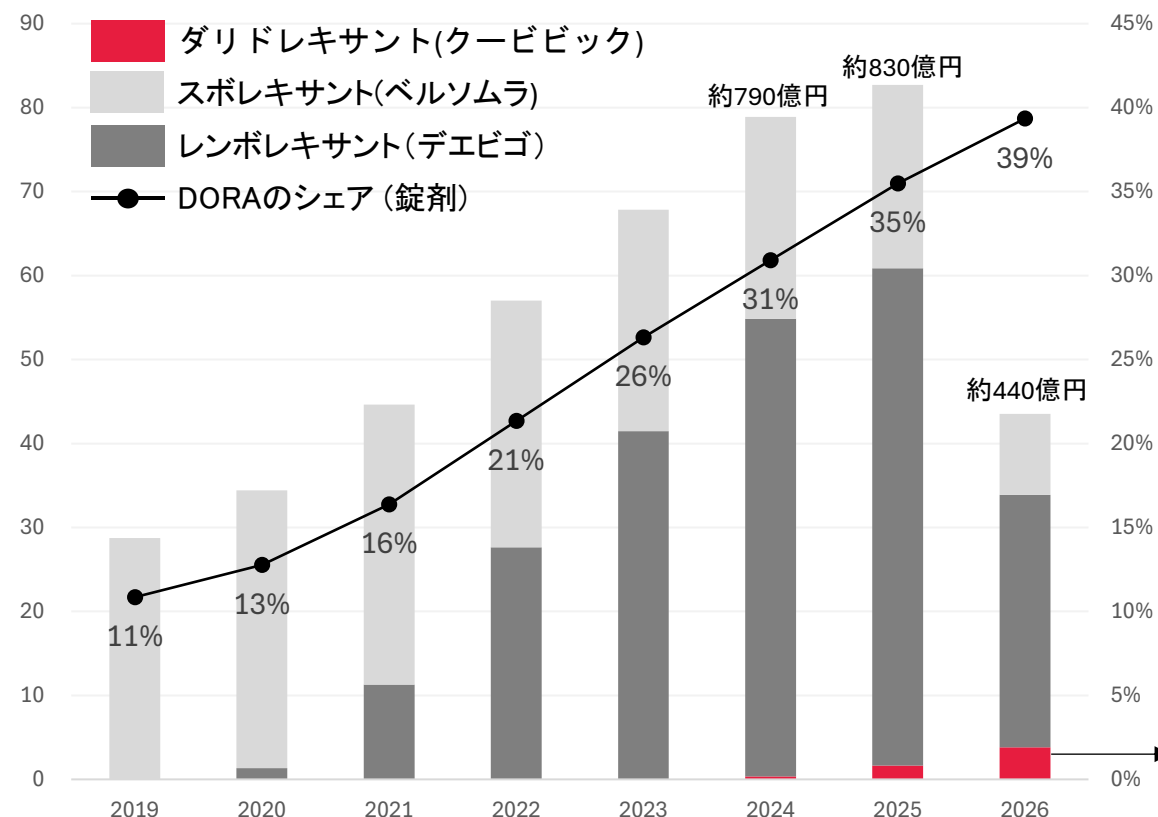
薬価基準未収載



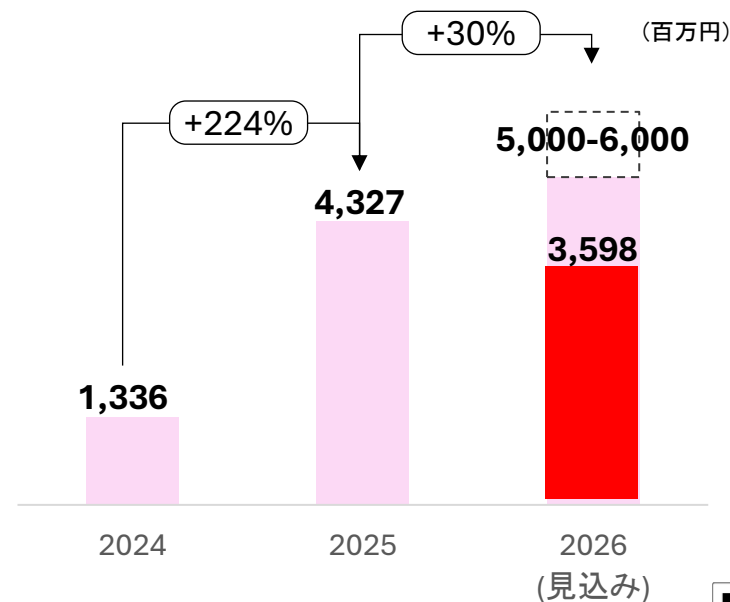
DORAの国内市場規模

クービビック®の年間売上と成長率

(十億円)



出所: 各社決算説明会資料より当社作成

50 - 60 億円**+30%**

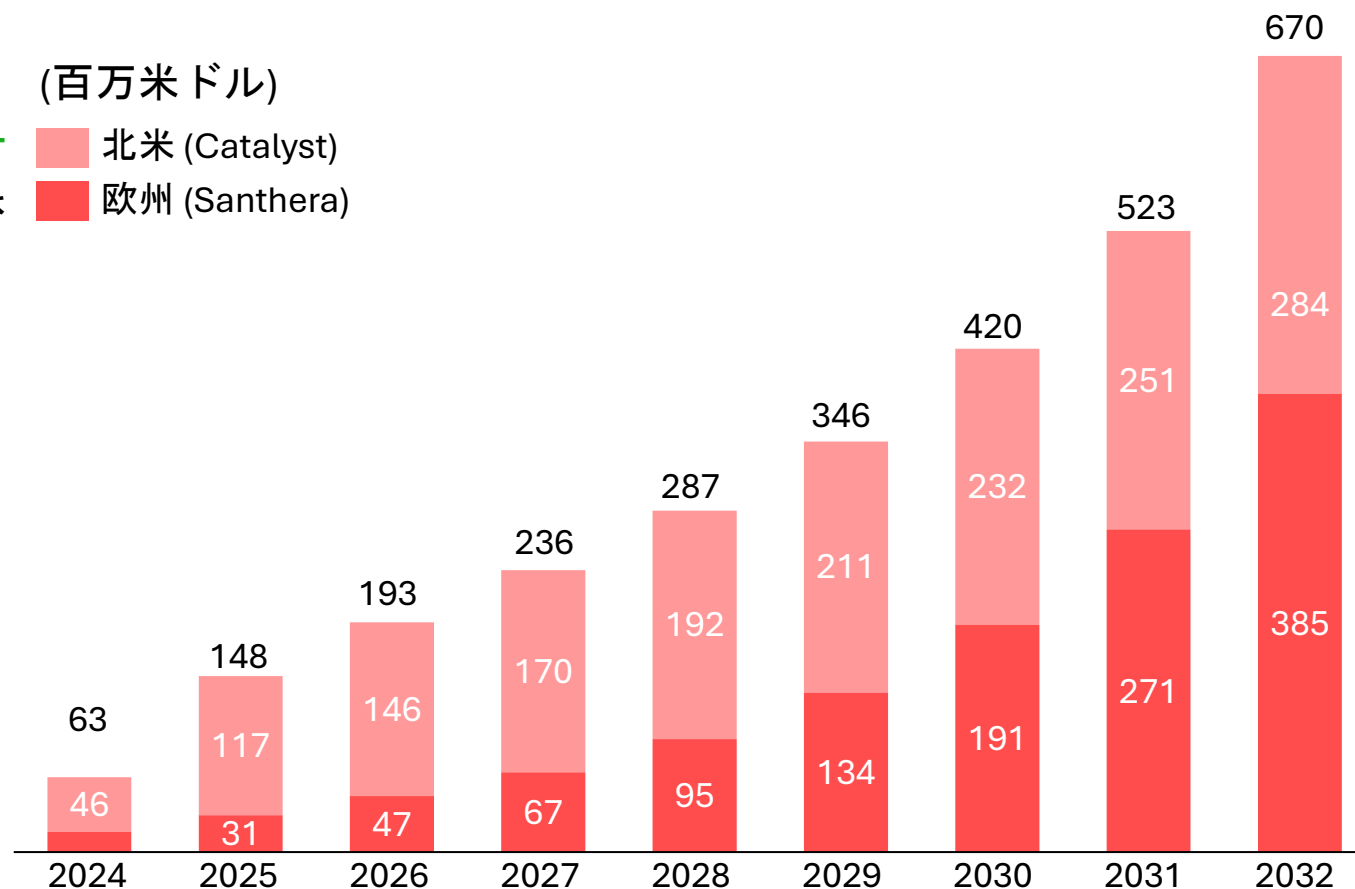


vamorolone (AGAMREE®) は忍容性が高い、次世代のステロイド

従来のコルチコステロイド治療と比較して、治療関連有害事象のリスクが低減

- vamoroloneは、標準療法であるコルチコステロイド治療の限界に立ち向かう
- 直近のGUARDIAN臨床試験のトップライン結果により、標準的なコルチコステロイドと比較してvamoroloneは**有効性を維持し、安全性が顕著に改善**していることが示された
- コルチコステロイド関連有害事象の低減(例):
 - 成長 – 正常な成長を維持($p < 0.0001$)
(5年後の平均身長差が +12.17 cm)
 - 骨の健康 – 椎体骨折率の低下($p = 0.0061$)
(vamorolone 8.1% vs deflazacort 41.9%)
 - 眼の健康 – 白内障発生率の低下($p < 0.015$)、緑内障は発生例なし
(vamorolone 5.3% vs deflazacort 37.8%)
- 副作用低減により、患者さんが**治療継続**しやすい

欧米でのvamoroloneの売上予測のコンセンサス



研究開発の進捗

CSO パトリック・フォルシュ

04



創薬から臨床まで数多くのマイルストーンを1Hで達成

創薬

PHASE 1& PHASE 2

PHASE 3・承認関連マイルストーン

abbvie

神経疾患を対象とした複数ターゲットの創薬提携で、開発マイルストーン(US\$20M)を達成

[PR LINK1,2](#)

4月

Lilly

糖尿病・代謝性疾患を対象とした複数ターゲットの創薬提携で、開発マイルストーン(金額は非開示)を達成

[PR LINK](#)

4月

Lilly

Centessa社との研究提携(ORX489)に基づき、US\$1.8MおよびUS\$3Mの2件のマイルストーン受領

[PR LINK1,2](#)

2・3月

Lilly

Centessa社との研究提携(ORX142)に基づき、US\$3.6Mのマイルストーン受領

[PR LINK](#)

1月

santhera

Santhera社よりDMD治療薬vamoroloneの日本・APAC地域(韓国、豪州、ニュージーランド)の権利取得

[PR LINK](#)

1月

NXera

台湾でdaridorexant 25mg/50mgが不眠症治療薬として承認、2026年中の上市を計画

[PR LINK](#)

4月

NXera

GPCR標的プログラムをベンチャー企業へ導出(総額マイルストーンUS\$275M)、同社シリーズAの資金調達へ参加

[PR LINK1,2](#)

2・5月

NEUROCRINE
BIOSCIENCES

Neurocrine社が統合失調症を対象にNBI-1117570のP2試験の被験者投与開始、マイルストーン受領(US\$22.5M)

[PR LINK](#)

4月

NXera

韓国のdaridorexantのP3試験で良好な結果を発表、販売承認申請を実施

[PR LINK1,2](#)

1・3月

NXera

韓国でvamoroloneがDMD患者の早期アクセスを支援する重要な規制上の指定(ODD/GIFT)を取得

[PR LINK](#)

4月

NxWave® SBDDプラットフォームが創薬から臨床まで幅広いマイルストーンを継続的にもたらす



新たなパートナーへの導出を計画する、臨床開発段階の3プログラム

EP4作動薬

炎症性腸疾患

NXE'744

Phase2試験準備完了

- ✓ Phase1 試験完了
- ✓ Phase 2 試験準備完了

インドメタシン負荷試験において
高い標的エンゲージメントを確認

2026年中の導出契約締結に向け、
複数社との交渉が進行中

GPR52作動薬

統合失調症

NXE'149

Phase2試験準備完了

- ✓ Phase1 試験完了
- ✓ Phase 2 試験準備完了

脳画像解析により、他の抗精神病薬と
同様の脳領域への作用を示唆

2026年中の導出契約締結に向け、
複数社との交渉が進行中

EP4拮抗薬

がん免疫療法

NXE'732

Phase2a試験実施中

- ✓ 2例の部分奏効（PR）を伴う
作用機序に関する概念実証

P2a試験の中間データを取得予定（2026年2H）
ONO-4578がP2試験で主要評価項目を達成し、
本作用機序の妥当性を裏付け

Cancer Research UKが
P2a試験を主導

提携および臨床データに関する重要なアップデートは2026年下期に予定

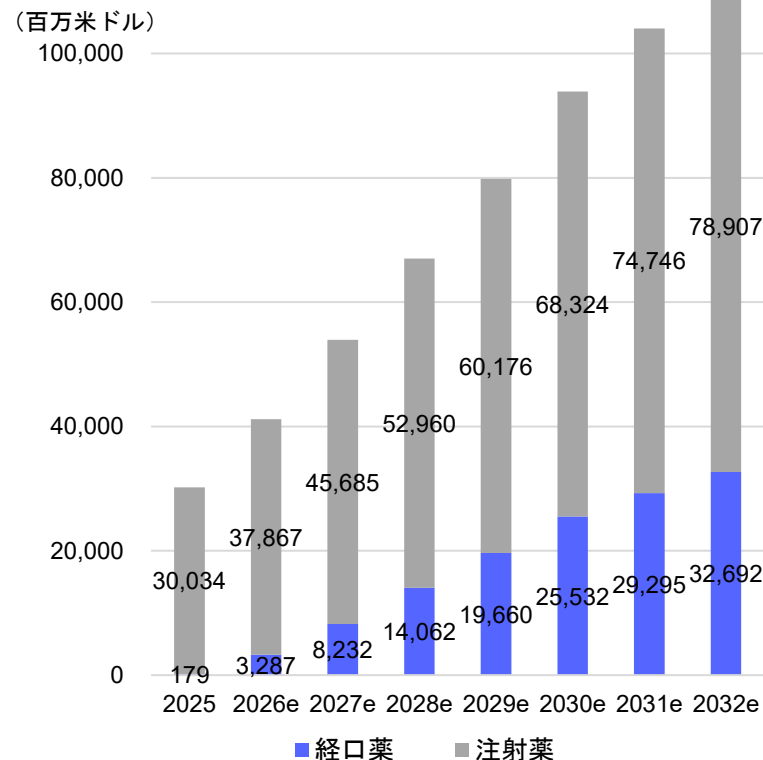


肥満・代謝性疾患・内分泌疾患に対する次世代治療薬開発

注射薬が主戦場の肥満症領域において、経口化・新規結合様式で差別化

肥満症における市場規模と当社の開発プログラム

メカニズム	対象疾患	市場規模
GLP-1 ag	肥満 代謝性疾患	21兆円
GIP ant		1.5兆円
GIP ag		6兆円
Amylin ag		3兆円
TSHR NAM	甲状腺眼症	0.8兆円
PTH ago	副甲状腺機能低下症	0.7兆円



差別化戦略と開発スケジュール

- 最大限の体重減少を追求する段階から、独自の有効性、忍容性、減量の質、治療アクセス、併存疾患に対する持続的な効果を備えた低分子開発に注力
- GLP-1作動薬およびアミリン作動薬について、差別化された化学骨格を創製、開発を推進
- 2027年に4件のIND申請準備試験を計画、2028年には複数の臨床試験を開始予定

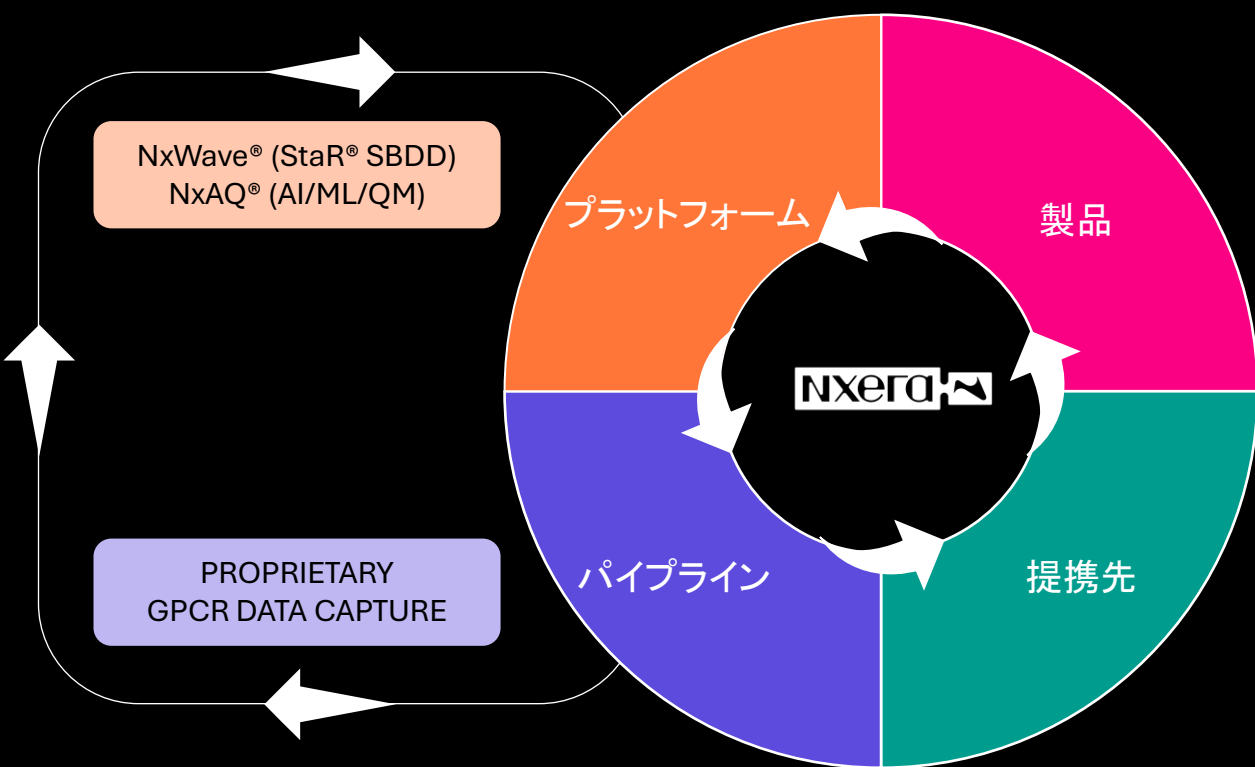
強力に忍容性に優れた経口低分子により、肥満症、体重管理および関連する併存疾患の治療を再定義し、世界規模の重大な医療ニーズに応える

今後の展望 — 投資フェーズから成果創出フェーズへ

CEO クリストファー・カーギル

05

4つの価値創出エンジンが連動し、相乗効果を発揮



製品

日本における収益性の高い、成長を続けるコマーシャル基盤
2030年目標: 売上高400-500億円、営業利益率30%超、計5製品

NxAQ® & NxWave®プラットフォーム

独自のGPCRデータセットを活用したAIおよび量子レベルのシミュレーション

2028年目標: AI主導の創薬プロジェクト5件

パイプライン

2026年目標: 10億ドル超の新規提携

2028年目標: 米国市場向け臨床段階プログラム4件

提携先

提携先による45億米ドル超のマイルストーン及びロイヤルティ契約

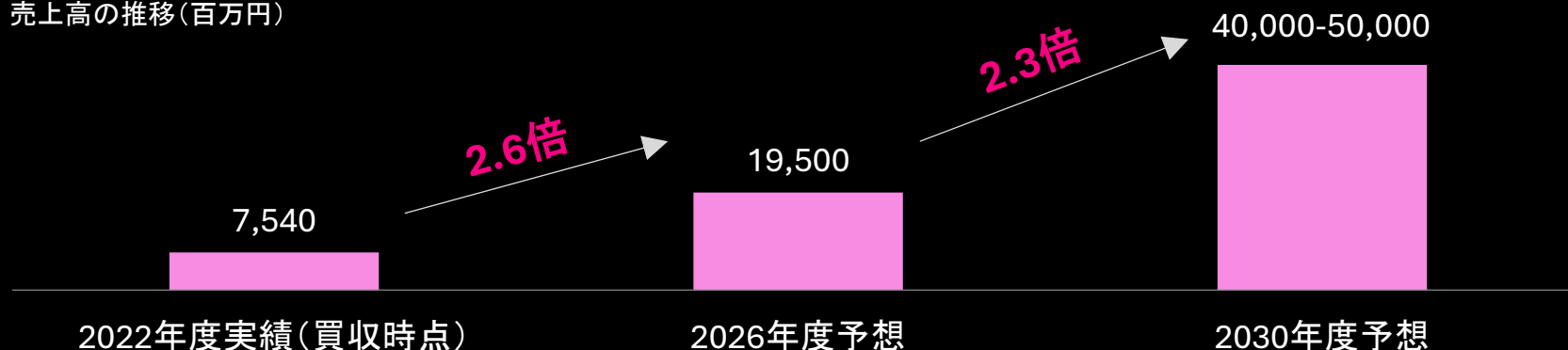
2027年目標: DireclidineのP3試験データ

各エンジンが互いを支えリスクを低減し、成長を加速



スペシャリティ・希少疾患領域の商業基盤：2023年以降、売上収益は2倍超に拡大

売上高の推移(百万円)



買収以降(2023年7月～)

売上収益 **2.6倍**

コスト削減率 **20%**

利益・キャッシュを創出

ピヴラッツ®

市場シェア約74%で首位、くも膜下出血後の脳血管攣縮治療における標準治療として定着

クービビック®

塩野義製薬との協業により売上は3桁%の成長、台湾では2026年後半の上市を予定

Vamorolone

デュシェンヌ型筋ジストロフィーに対する治療薬。米国、EU、英国および中国で承認済み

新製品

ポートフォリオへの新製品追加に向け、複数の協議が進行中

ピークセールス(億円)

ピヴラッツ® **150~160億円**

クービビック®* **150~200億円**

VAMOROLONE **100~200億円**

*ネクセラの売上収益(日本+APAC)

厳選した開発品・医薬品を獲得し、効率的な商業基盤を通じて成長を加速



VamoroloneはDMD以外の3つの希少疾患への適応拡大を目指す

	疾患概要	患者数・疫学	現在の標準治療
福山型先天性筋ジストロフィー(FCMD)	多くは日本にのみ認められる希少遺伝性筋疾患。脳や眼にも影響を及ぼし、生命予後を著しく損なう	患者数は約1,000～2,000人	対症療法のみ
小児ネフローゼ症候群 (SRNS、FRNS、SDNS)	腎臓からタンパク質が漏出し、浮腫を引き起こす小児の腎疾患。ステロイドへの反応性により、抵抗性、頻回再発型または依存性に分類される	年間発症率は小児10万人当たり6.5人	グルココルチコイド（GC）
若年性皮膚筋炎(JDM)	筋肉と皮膚に炎症を引き起こし、筋力低下や特徴的な皮疹を呈する、小児期発症の希少自己免疫疾患	- 国内患者数は約400人（日本リウマチ学会） - 発症率：小児10万人当たり1.74人	グルココルチコイド

より多くの希少疾患患者のアンメットニーズを満たすことに注力



日本発のグローバルAI創薬企業を築く5人の精鋭



BEN
TEHAN

Computational
Sciences



ANNA
GAULTON

Data
Science



ŽYGIMANTAS
JOČYS

AI/ML
Research



PETER
IBRAHIM

Platform
Engineering



WANLING
SONG

Computational
Engineering



実績ある創薬のプロフェッショナルが、15年にわたり蓄積した独自のGPCR創薬を解き放つ



NxAQ®は蓄積により価値が高まる独自データ資産を、迅速かつ質の高い創薬へ変える

蓄積により価値が高まる独自データ資産

15年にわたり蓄積してきた独自のStaR®データ:

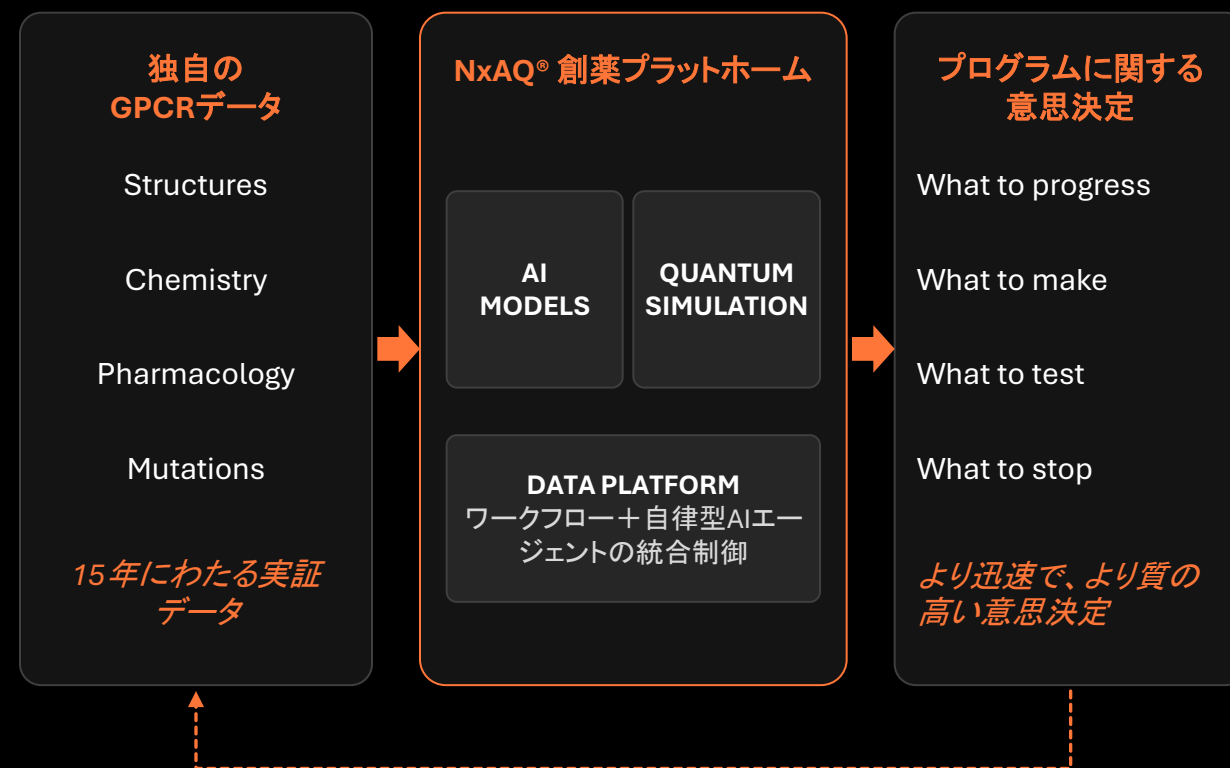
493件のGPCR構造、59種類の受容体、3万件の変異データポイント、100件を超えるプロジェクトから得られた400種類以上の化合物

AIと量子シミュレーション

ファインチューニングしたAIモデル、超大規模バーチャルスクリーニング、量子レベルの分子シミュレーションにより、独自の予測を創出。得られた知見を、化合物の選定、実験設計、プログラムの優先順位付けに活用

迅速かつ質の高い意思決定

開発候補品の創出までの期間を大幅に短縮し、創薬プログラムの規模を拡大



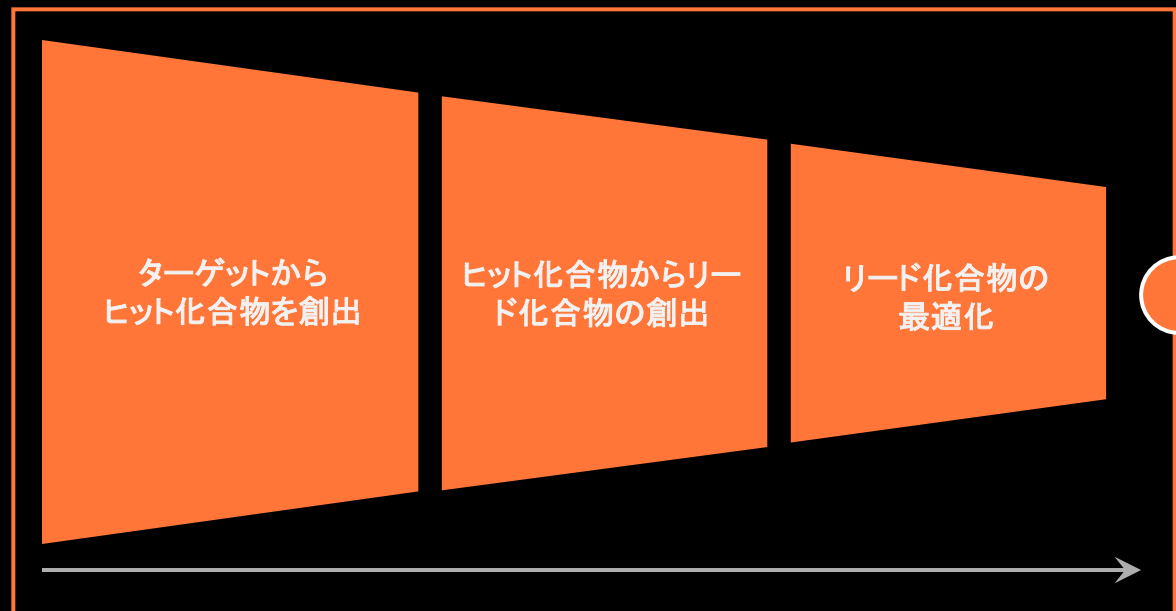
実測された実験結果

AWS上に構築されたクラウド型プラットフォームは
大規模のコンピューティングを可能にし、開発候補品の創出までに要する期間を大幅に短縮



NxAQ[®]は創薬期間とコストを大幅に削減し、スケーラブルな創薬の実現を目指す

すべてのプログラムがデータセットを充実させる



規制に基づく開発期間

IND-ENABLING
STUDIES

PHASE 1

PHASE 2

PHASE 3

承認申請から上市

	従来手法	NxAQ [®]
開発候補品選定までの平均期間	4~5年	1~1.5年
開発候補品選定までの 平均研究開発費	\$10-15M	<\$5M

創薬初期段階の期間を約70%短縮

コストを50%超削減

開発候補への到達スピードを最重要KPIとし、2028年までに5件の新規プロジェクト開始を目指す



今後の肥満症治療薬は、減量効果だけでなく、より幅広い価値が競争軸となる

1.有効性の向上

食欲＋エネルギー消費

3種以上の薬理作用、APC

アクチビン / 固定用量配合剤
(FDC)

最大限かつ持続可能な減量

2.より質の高い減量

脂肪量・炎症を低減

除脂肪体重(筋肉量)を維持

アミリン、レプテン
リバウンドの抑制

より健康的な体組成

3.治療アクセスと アドヒアランス

経口低分子薬

固定用量配合剤

3カ月毎 / 年1回の投与

スケーラブルで
持続性に優れた治療

4.忍容性の向上

より緩やかな減量

選択的アミリン / DACRA

長時間作用型GIP / GLP-1

より良好なアドヒアランスと
コンプライアンス

健康的な体重減少＋アウトカムの改善、食欲コントロールの回復、筋肉・臓器の保護、持続性の向上

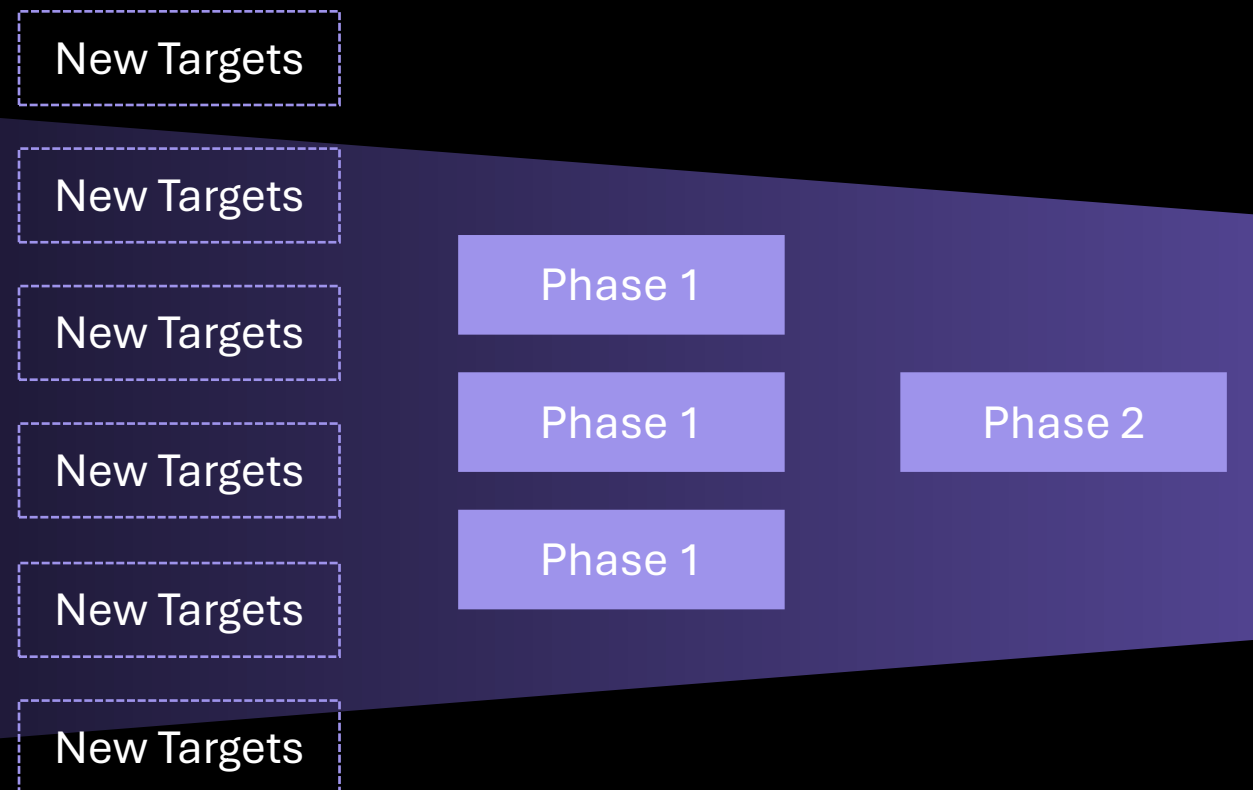


NxAQ[®] 及び NxWave[®]を活用し、代謝性/希少疾患領域の次世代パイプラインを構築

2026年現在の創薬パイプライン



2028年の臨床開発パイプライン予想



長期的な体重管理、減量時の筋量維持および希少内分泌疾患を対象とする米国市場向けの臨床開発プログラム



3大提携先との間での、最大受取可能マイルストーンは45億米ドル超＋ロイヤリティ

主な契約経済条件



26億米ドル＋
段階的ロイヤリティ



マイルストーン＋
ロイヤリティ



7億米ドル＋
段階的ロイヤリティ



12億米ドル＋
段階的ロイヤリティ

プログラム

Directlidine (統合失調症)

PH 3

Directlidine (双極性障害), NBI-570 (統合失調症)

PH 2

NBI-569 (Alz. Psyc*), NBI-567 (Alz. Cog*)

Ph 1

Cleminorexton/ ORX750 (NTI, NT2, IH)

Ph2/3

ORX142 (神経疾患/神経変性疾患)

Ph 2

ORX489 (神経精神疾患)

Ph 1

創薬段階

創薬段階

概要

ムスカリン受容体作動薬
神経精神疾患

2027年下期
M4作動薬P3試験
結果公表

OX2受容体作動薬
睡眠障害
＋認知機能 / 疲労 / 気分

2026年下期
OX2に関するLilly
の戦略方針

複数ターゲット
糖尿病・代謝性疾患

複数ターゲット
神経疾患

提携により、外部資金を活用したパイプラインの価値最大化と収益化につなげる
3社との提携で、総額45億米ドル超の契約条件を確保、2026年下期に新たなパートナーとの提携を見込む

*Alz. Psyc/Alz. Cog:アルツハイマー病に伴う精神症状/アルツハイマー病に伴う認知機能障害



4つの大きな成長エンジンが、相乗効果を発揮しながら企業価値を急速に拡大

PRODUCTS

日本で収益性が高く、成長を続けるコマーシャル基盤

2030年目標: 売上高400-500億円超、営業利益率30%超、5製品

NxAQ® / NxWave® プラットフォーム

独自のGPCRデータセットを用いたAI/量子レベルのシミュレーション

2028年目標: AI主導の創薬プロジェクト5件

パイプライン

2026年目標: 10億米ドル超の新規提携契約

2028年目標: 米国市場向けに臨床開発段階の4プログラム

提携先

提携先とのマイルストーン・ロイヤリティ収入は最大45億米ドル超

2027年目標: DireclidineのPhase 3試験データ

今後見込まれる主なマイルストーン

2026年下期: 日本向け新規導入品の獲得
2027年下期: vamoroloneの国内承認申請

2026年下期: 最初のプログラムから初期データを取得
2027年下期: 自動化及びエージェント活用によるNxAQ®パイプラインの規模拡大

2026年下期: 新たなグローバル導出契約の締結
2028年上期: 初の代謝性疾患プログラムが臨床開発段階へ

2026年下期: LillyのOX2プログラムの進捗(ORX750/142/489)
2027年下期: NeurocrineのM4作動薬 Phase3試験結果の判明

各エンジンが互いの成長を支えリスクを低減するとともに、資金創出と成長加速に貢献



Q & A

2030年ビジョン

日本で少なくとも5製
品を上市*



BDプラットフォームを活用し、
新規事業機会を積極的に探索

ベスト・イン・クラス
かつ高い成長可能
性を有する機会



肥満・代謝・内分泌領域
80%

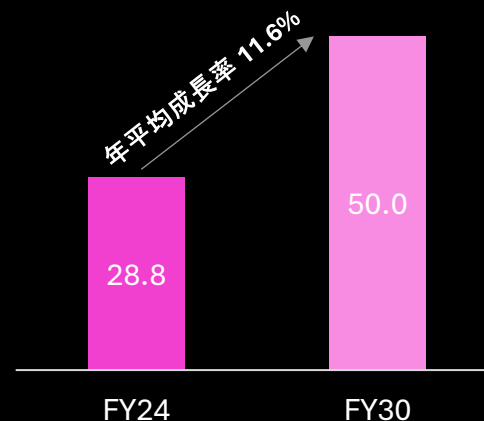


選択的に取り組む治
療領域（希少疾患・
免疫・神経領域）
20%



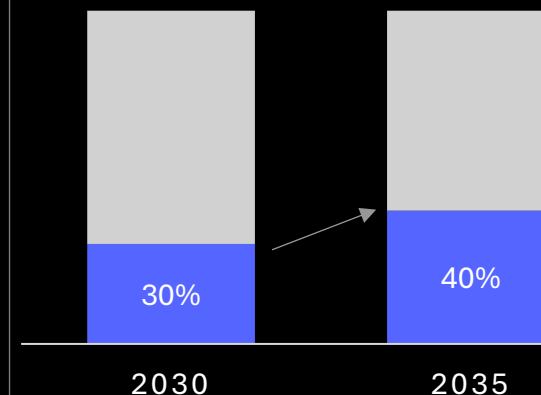
年間売上収益500
億円以上

売上収益目標 (10億円)



営業利益率30%超

営業利益率目標 (%)



2030年ビジョンの実現には、オーガニック成長と戦略的成長を着実に実行することが必要

*PIVLAZ®、QUUVIVIQ®、AGAMREE®を含む

2026年のイベントカレンダー*

✓ : 達成済

開発プログラム	提携先	時期	イベント	
✓ ORX142 (OX2作動薬)		2026年2月	フェーズ2試験開始	
✓ ORX489 (OX2作動薬)		2026年3月	フェーズ1試験開始	
✓ NBI'570 (M1/M4作動薬)		2026年4月	フェーズ2試験開始	
✓ 複数の創薬コラボレーション	abbvie 	2026年上期	創薬段階における開発の進捗(2026年累計3件)	
ORX750 (OX2作動薬)		2026年	フェーズ2a試験データ取得(NT1/NT2/IH)	
ORX750 (OX2作動薬)		2026年	Registrational試験開始(NT1/NT2/IH)	
Cenerimod		2026年Q4	フェーズ3データ取得	
NBI'569 (M1/M4作動薬) / NBI'567 (M1作動薬)		2026年下期	臨床開発における進捗	
NBI'567 (M1作動薬) / NBI'569 (M1/M4作動薬) / NBI'570 (M1/M4作動薬)		2026年	フェーズ1 データ発表	
新規グローバル導出・提携		随時	導出・提携	
Japan / APAC向け新規導入		随時	後期開発品の導入や買収	
クービビック® / Vamorolone		随時	APACでの導出	

*提携先の進展については、パートナーからの開示等があったものに限って記載



主要拠点



Midtown East,
9-7-2 Akasaka
Minato-ku
Tokyo 107-0052

Japan



F17, 410 Teheran-
Ro
GangNam-Gu
Seoul 06192

South Korea



Steinmetz Building
Granta Park,
Cambridge
CB21 6DG

United Kingdom



Burleigh-on-the-Strand
355-359 Strand
London
WC2R 0HS

United Kingdom



Office 26.01
Flexoffice Messeturm
26th Floor
Messeplatz 10
CH-4058 Basel

Switzerland



Thank you

BREAKTHROUGHS IN PROGRESS • BREAKTHROUGHS IN PROGRESS • BREAKTHROUGHS IN PROGRESS